

由利本荘市総合戦略の概要

1 基本的視点

戦略方針

『国内外から人と財が集まる「地域価値（由利本荘ブランド）」を創造する』

地域価値（由利本荘ブランド）とは

- 「新たな事業や研究に挑戦できる地域」
- 「人々が働きたい地域」
- 「子どもを産み育てやすい地域」
- 「生きがいあふれる地域」

2 基本目標

(1) 産業集積の強靱化と雇用創出

○従業者数 33,000 人 (H31)

○本市への移住者数 5 か年累計 85 組

(2) 子どもを産み育てやすい環境の創造

○合計特殊出生率 1.75 (H31)

○婚姻数 345 件 (H31)

(3) 生きがいあふれる健康長寿社会の形成

○特定健康診査受診率 60.0% (H31)

○スポーツ関連施設の年間延べ利用者数 700,000 人 (H31)

(4) ふるさと愛の醸成と地域コミュニティの再生

○ボランティア登録者数 8,500 人 (H31)

○共助組織数 5 団体 (H31)

3 推進期間

5 年間（平成 27 年度～平成 31 年度）

4 推進体制

基本目標及び施策ごとの数値目標の達成度をもとに、外部有識者の参画を得て施策・事業の効果を検証し、改善を図る。

主な取り組み

(1) 産業集積の強靱化と雇用創出

① ものづくり産業の集積と強靱化

■既存の電子部品デバイス産業の集積に加え、航空機・自動車等の輸送機関連産業に進出する地域企業を戦略的に支援し、相乗の産業効果を生み出す取り組みを実践する。

◎KPI：製造品出荷額等 977 億円 (H24) → 1,420 億円 (H31)

② 観光資源の活用と観光振興のための環境整備

■地域の資源（自然・歴史文化・食・温泉・スポーツ等）を磨き上げ、それを活用した観光プログラムを開発した上で誘客を促進し、滞在型観光の確立によって地域経済の活性化を図る。

◎KPI：観光入込客数 2,400 千人 (H26) → 2,750 千人 (H31)

③ 首都圏を中心とした県外からの移住（U I ターン）の促進

■移住を考えている幅広い世代に向けて、本市の魅力や不安解消につながる情報を継続的に提供し、移住への意欲の醸成を図るとともに、移住の決断を後押しするため、個々のニーズに応じて、「仕事」や「住まい」などの情報をきめ細かく提供する。また、移住希望者と移住者によるネットワークを構築するため、首都圏等におけるセミナーの開催、先輩移住者による体験談の発表、本市の自然や暮らしを実感できる機会の提供などを行い、移住者が更なる移住者を呼ぶといった「移住の好循環」を実現する。さらに、地域の活性化や産業振興に結びつく人材を誘致するため、移住前後にかかる費用に対する支援を行う。

◎KPI：新規移住希望登録者数 300 人以上（5 か年累計）

④ 起業・創業へのチャレンジを支援する環境の創造

■新たなビジネスにチャレンジしやすい事業環境を創造するとともに、市内外から起業・創業や第二次創業を目指す人と財が集まる、稼げるまち由利本荘市を目指す。

◎KPI：新規事業支援スキーム利用件数 15 件以上（5 か年累計）

⑤ 戦略的な園芸振興作物の生産拡大

■米価下落対策として、地域で振興を図っている野菜・花き（リンドウ、小菊、アスパラガス、ミニトマト、キャベツ、菌床しいたけ）の規模拡大、機械・施設導入を支援し、農家所得向上を図る。

◎KPI：リンドウ 12ha (H25) → 17ha (H31)
アスパラガス 32ha (H25) → 50ha (H31) など

(2) 子どもを産み育てやすい環境の創造

⑥ 独身男女の出会いの機会の提供

■町内会やすこやかあきた出会い応援隊、会員団体、結婚サポーター等の協力により、あきた結婚支援センターへの登録を促し、マッチング機能を利用した独身男女の出会いの場を提供する。

◎KPI：結婚支援センター新規登録者数 180 人（5 か年累計）

⑦ 地域における子育て支援拠点の設置

■市内各地域において、育児不安等の相談や育児サークルの育成など、総合的な子育て事業を行う拠点を設置する。

◎KPI：子育て支援センターの設置 5 地域 5 施設 (H26) → 市内 8 地域へ設置 (H31)

⑧ 少子化対策と定住促進を支援する環境の充実

■県補助事業に該当しない、乳幼児から中学生までの医療費の一部自己負担を全額助成し、市民一律のサービスと、健康の保持、生活の安定を図る。

◎KPI：市が単独で助成している福祉医療拡大分の全住民アンケート「評価する」が 80%以上 (H31)

⑨ 安心して出産・子育てできる環境づくり

■妊娠から子育て期までを切れ目なく支援する「子育て世代包括支援センター」を開設し、安心して子育てできる環境づくりを目指す。

◎KPI：子育て世代包括支援センター開設 1 か所 (H31)
児童館利用者数 8,000 人 (H28) → 10,000 人 (H32)

(3) 生きがいあふれる健康長寿社会の形成

⑩ 運動習慣化の普及による健康づくりの推進

■心身の健康増進向上に効果的とされる運動の習慣化及び高齢者の運動機能低下予防の継続的な支援により、「健康由利本荘 21 計画」の主目的である「健康寿命の延伸」を目指す。

◎KPI：インターバル速歩体験参加者数およびインターバル速歩実践者数 60 人 (H26) → 2,640 人 (H31)

⑪ 高齢社会を見据えた市営住宅の整備

■人口及び世帯数減少を加味した今後の市営住宅のストック戸数を推定し、整備、建替計画を策定する。実施にあたっては、高齢社会に対応した、福祉連携型住宅の供給を計画する。

◎KPI：市営住宅のストック戸数 10%減 (H31)

⑫ 競技スポーツの推進

■4 年後の完成を目指す総合防災公園アリーナを最大限活用する。東京オリンピックの宿泊誘致、室内スポーツの全国大会規模の招致、本市出身選手等が活躍する競技種目の試合や大会を開催する。

◎KPI：総合防災公園アリーナ利用・観客者 200,000 人 (H31)

(4) ふるさと愛の醸成と地域コミュニティの再生

⑬ 主体的な地域コミュニティ活動の活性化

■地域情報の掘り起しと収集の促進を図り、地域価値の再認識を行う。また、特に若者の意見を取り入れた地域コミュニティのビジョン策定と実践活動のサポートを行う。

◎KPI：現状・課題について住民相互の情報共有の件数（地域数） 40 件（5 か年累計）

⑭ ふるさと愛の醸成（学社連携の推進）

■地域資源を活用し、ふるさと教育に根ざしたコミュニティ・スクールの推進を行う。キャリア教育の核とし、地域社会との関わりを重視した職場体験の充実を図り、学校施設の開放と利活用を推進する。

◎KPI：地域課題に目を向ける人材の育成 全国学力・学習状況調査質問紙 回答 (H26 比+30 ポイント) (H31)